

第73期 報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

輝く未来の創造「メーカー商社」として
世界の産業界に貢献します。

RIX リックス株式会社

証券コード 7525

事業紹介

商品

圧力発生機

ブランジャーポンプ

高圧水の発生源となるポンプ
高圧水洗浄装置の動力源として利用



応用機器・システム商品

ロッキーワッシャー

多用途の高圧水洗浄機



金属接合機(TOX)

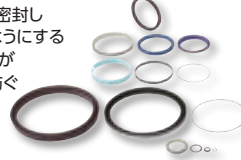
異種金属板を接合する機械



付属機器・部品

オイルシール類

高圧の水・油を密封し
外に漏れないようにする
外部からダストが
侵入するのを防ぐ



関連技術商品

三方ピストン弁 (ロッキーバルブ)

高圧のガス等の流量を
調整する弁
主にタイヤメーカーの
加硫機に使用



商社機能

製品

応用機器・システム製品

フラックス精密洗浄装置

半導体新製品(CSP、
BGA等)の製造工程に
使用されるフラックス
を除去し、純水にて精密
仕上げ洗浄を行う装置



付属機器・部品

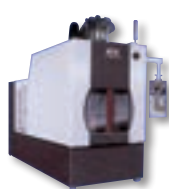
クリーンルーム対応ロータリージョイント

半導体業界で、CMP設
備などに水や研磨剤な
どを供給する回転継手



NC高圧洗浄機 (ジェットフレックス)

自動車業界向けの、
高圧水を利用した部品の
深穴の金属バリ取装置



工作機械用ロータリージョイント

マシニングセンタ
でクーラント液を
スピンドルから噴
射する用途に使用
する回転継手



メーカー機能

営業区分

リックスはお客様のニーズに
迅速・的確に対応できる顧客
密着型の「メーカー商社」と
いう業態です。

鉄鋼

自動車

電子・半導体

ゴム・タイヤ

高機能材

環境

紙パルプ

その他

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととご拝察申し上げます。また平素より
格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

4月1日付けで代表取締役社長に就任いたしました安井卓でございます。

当社第73期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)における業績のとり
まとめを終えましたので、ここに第73期報告書をお届けします。株主の皆様
におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 安井卓

課題解決型の「メーカー商社として」 世界の産業界に貢献します。

Q 当期の営業概況について教えてください。

A 前年同期比で、売上高は9.7%増の421億35
百万円、営業利益は25.1%増の28億61百万円、
経常利益は23.0%増の30億17百万円、親会社株主に
帰属する当期純利益は25.5%増の21億16百万円となり
ました。

当期の世界経済は、米中間の通商問題を背景とした
中国の景気減速がみられるものの、ユーロ圏の景気は
緩やかに回復し、米国は着実に景気回復を継続するなど、

全体としては緩やかに回復しました。一方、日本経済は、
昨夏に相次いだ自然災害に見舞われながらも雇用環境の
大幅な改善を受けて個人消費が持ち直し、緩やかな回復
基調が続きました。

このような経済環境のもと、当社グループでは当期より
新たに中期3か年計画「戦略ビジョン2020」に基づく施策を
推し進め、経営課題の解決と経営目標の達成に取り組んで
まいりました。

Q 当期のセグメント別事業の概況について教えてください。

A 当社グループにおける業界別セグメントの成績は総じて好調に推移しました。

鉄鋼業界向けでは、顧客のニーズである安定操業に関する設備改善の案件に加え、安全・防災・自動化に関する案件が増えました。高炉設備装置や転炉本体設備、高炉操業装置整備や鋼片精製設備の補修などを受注したほか、ポンプや自社継手製品などが売上増に貢献しました。この結果、売上高は133億21百万円(前年同期比13.8%増)となりました。

自動車業界向けでは、自動車部品メーカー向け洗浄装置や検査装置の引き合いが好調であり、同じく自動車部品メーカー検査工程向け残渣測定装置や、フィルタなど消耗品の販売が大幅に伸長したほか、工作機械向けの自社製品の販売も好調を維持し、売上増に寄与しました。この結果、売上高は118億95百万円(前年同期比17.2%増)となりました。

電子・半導体業界向けでは、修理再生ビジネスを中心に、機器設備補修メンテナンスサービスや、ウエハー製造工場の改造工事、半導体後工程洗浄装置の引き合いが強かった

ほか、シール類の販売が伸長、自社継手製品の販売も好調を維持し、売上増に繋がりました。この結果、売上高は42億97百万円(前年同期比1.6%増)となりました。

ゴム・タイヤ業界向けでは、断熱板の減少は続くものの、混合工程設備を受注したほか、タイヤ加硫機用バルブの受注も好調を維持、自社継手製品やポンプ類の販売も伸長し、売上増に貢献しました。この結果、売上高は29億92百万円(前年同期比4.5%増)となりました。

高機能材業界向けでは、化学メーカー向け動力減速装置を受注したほか、シール部品、フィルタなどの消耗品が堅調のため、売上増となりました。この結果、売上高は15億52百万円(前年同期比2.2%増)となりました。

環境業界向けでは、廃棄物処理設備用真空ポンプ、リサイクル施設散水設備工事、エネルギー産業設備向け集塵機や廃棄物処理施設用真空ポンプを受注したほか、リサイクル設備向けのフィルタ、下水施設向けの油圧部品などの販売が伸長し、前年同期の実績を上回る推移となりました。この結果、売上高は18億30百万円(前年同期比6.5%増)となりました。

紙パルプ業界向けでは、大型設備案件が乏しく、苛性化装置用部品などを受注したものの、ポンプ類の落ち込みは

回復に至らず、前年同期を僅かに下回る推移となりました。この結果、売上高は7億29百万円(前年同期比0.4%減)となりました。

Q 今後の経営ビジョンなどについて教えてください。

A これからも顧客の課題解決・高付加価値提案営業に尽力し、「戦略ビジョン2020」の具現化に邁進してまいります。

当期は中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2020」の初年度という重要な1年でありましたが、当中計方針に基づく諸施策の奏功により、最終年度目標として掲げていた連結経常利益30億円を当期においてクリアすることができました。

しかしながら世界経済は、英国の欧州連合離脱交渉を巡る不透明感や米中の貿易摩擦が下押し、全体として不確実性の高まりをみせています。また、日本経済は、人手不足対応や消費増税対応を背景とした設備投資、個人消費は底堅く推移するとみられる一方、世界経済減速の影響を受け、輸出が伸び悩むとみられます。

当社グループとしましては、このような環境下で、顧客の

課題解決・高付加価値提案営業に尽力し、中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2020」に掲げる経営目標の達成に向けて邁進したいと考えております。

以上のことから、2020年3月期の連結業績の見通しにつきましては、売上高418億円(前年同期比0.8%減)、営業利益27億円(同5.6%減)、経常利益28億50百万円(同5.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益19億50百万円(同7.9%減)を見込んでおります。

Q 株主還元の状況など株主様へのメッセージをお願いします。

A 当初計画よりも8円増配となる1株当たり40円の期末配当を実施させていただきました。

当期末配当金につきましては、当初計画よりも8円増配となる1株当たり40円の配当を実施させていただきました(前年同期実績33円:普通配当28円+記念配当5円)。これにより中間配当を合わせた年間配当金は、前期よりも15円増配となる1株当たり65円となりました。

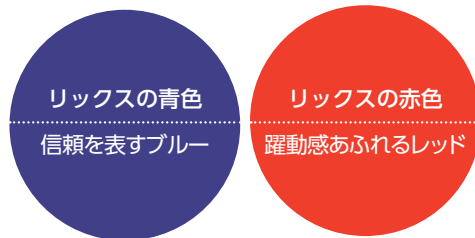
株主の皆様には、当社グループの企業価値をご理解いただくとともに、今後の発展にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Corporate Identity

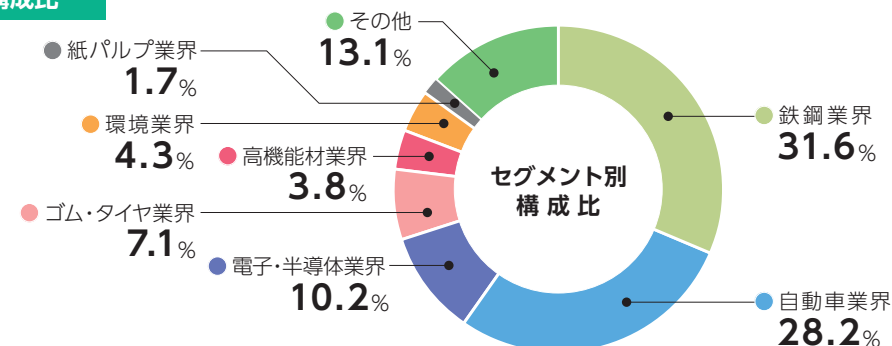
培われた伝統のもとに、さらに未来への飛躍を図るというイメージを表現しています。



- R** 自社ブランド「ROCKY」の頭文字
- I** INDUSTRY(工業/産業)の頭文字
- X** 無限の可能性と将来性



セグメント別構成比



連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	前期 (2018年3月31日現在)	当期 (2019年3月31日現在)	科目	前期 (2018年3月31日現在)	当期 (2019年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	21,494	23,485	流動負債	12,992	13,547
固定資産	6,960	6,800	固定負債	1,327	1,350
有形固定資産	2,925	3,097	負債合計	14,319	14,898
無形固定資産	136	118	純資産の部		
投資その他の資産	3,898	3,585	株主資本	12,895	14,536
資産合計	28,455	30,286	資本金	827	827
			資本剰余金	1,057	1,057
			利益剰余金	11,417	13,059
			自己株式	△407	△407
			その他の包括利益累計額	1,018	631
			非支配株主持分	222	219
			純資産合計	14,135	15,387
			負債・純資産合計	28,455	30,286

連結損益計算書 (単位:百万円)

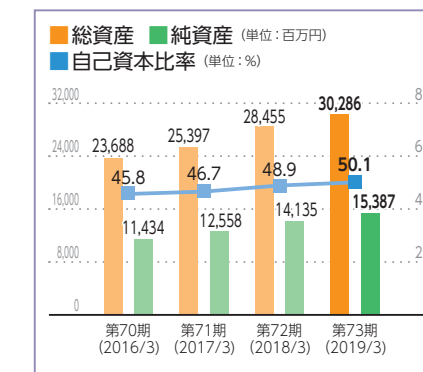
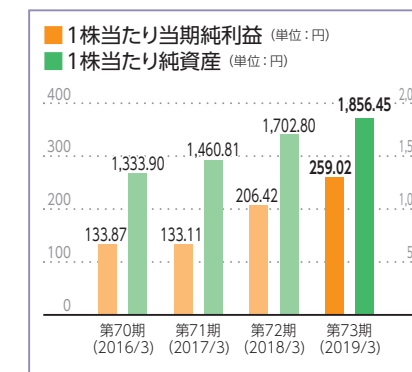
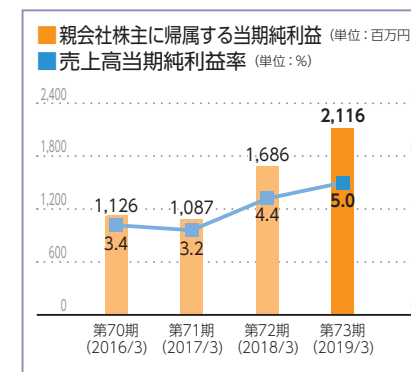
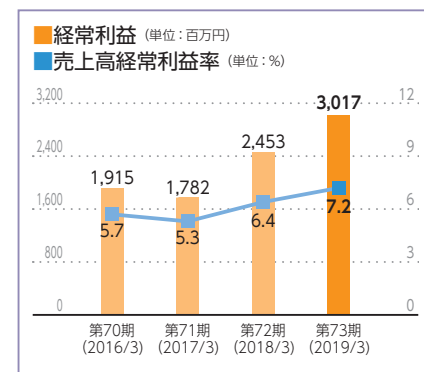
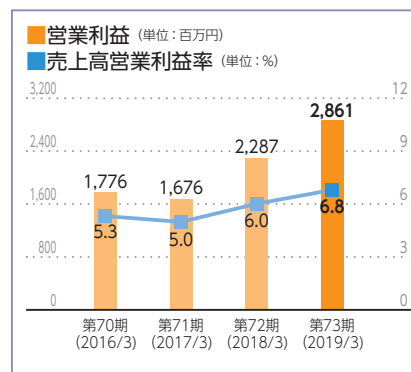
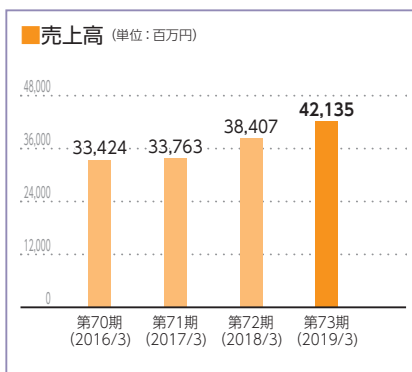
科目	前期 (2017年4月1日から 2018年3月31日まで)	当期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)
売上高	38,407	42,135
売上原価	29,960	32,706
売上総利益	8,446	9,429
販売費及び一般管理費	6,158	6,567
営業利益	2,287	2,861
営業外収益	179	186
営業外費用	14	30
経常利益	2,453	3,017
特別利益	3	3
特別損失	13	18
税金等調整前当期純利益	2,444	3,001
法人税等	739	867
当期純利益	1,704	2,133
非支配株主に帰属する当期純利益	17	17
親会社株主に帰属する当期純利益	1,686	2,116

連結包括利益計算書 (単位:百万円)

科目	前期 (2017年4月1日から 2018年3月31日まで)	当期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)
当期純利益	1,704	2,133
その他の包括利益	231	△405
その他有価証券評価差額金	196	△338
為替換算調整勘定	28	△60
退職給付に係る調整額	4	△5
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△1
包括利益	1,935	1,728
(内 訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,900	1,730
非支配株主に係る包括利益	34	△1

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	前期 (2017年4月1日から 2018年3月31日まで)	当期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	895	1,839
投資活動によるキャッシュ・フロー	△233	△470
財務活動によるキャッシュ・フロー	△471	△421
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△42
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	191	904
現金及び現金同等物の期首残高	3,209	3,403
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	2	—
現金及び現金同等物の期末残高	3,403	4,307



当社グループの業績は国内製造業の設備投資と生産活動に依拠しておりますが、国内製造業は少子高齢化に伴う国内市場縮小を見越し、地産地消の考えに基づいて海外への生産移管をますます加速していることから、この変化への対応が最も重要な経営課題となっております。

当社グループは、2018年度より中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2020」を下記のとおり策定し、経営課題の解決と経営目標の達成に全社一丸となって取り組んでまいります。

戦略ビジョン2020

2018年度～2020年度

ビジョン

リックスは、メーカー商社のビジネスモデルを更に進化させ、より専門的なニッチ分野で、開発・メンテナンス等のメーカー機能をアップさせながら、新製品開発・新事業開発・新市場開発を推進し、新しい高付加価値を創り出します。その高付加価値を、各々の業界分野のナンバーワン顧客企業に、適時にまた安定して、世界中どこにでも、提供できるグローバルニッチトップの開発型企業集団を目指します。

目標

経常利益(連結)

30億円
の達成

方針

1. メーカー商社のビジネスモデルの更なる進化

- ① 開発機能の強化(製品、商品、市場)
- ② 顧客接点でのPDCAのスピードUP
- ③ メンテナンス機能・品質保証機能の強化

2. グローバル展開の加速

- ① 自社・ブランド商品の世界販売加速
- ② グローバルニッチトップ商品の開発強化
- ③ 中国・北米・欧州の事業強化

3. リックスグループとしての協業強化

- ① グループにて戦略の統一性
- ② 事業機能集約による最適化・オンリーワン化
- ③ 統括機能の強化(各社GNTを目指す)

4. 人と組織の能力向上

- ① 人事・教育制度の根本的な見直し
- ② 営業支援システムの刷新
- ③ CSR強化

事業開発本部 横浜事業所を開設しました。



アクア膜グループ、ダンフォースグループが所属する横浜事業所を開設いたしました。

各グループのテスト場やエンジニアリングルーム(設計部屋)を完備し、万全な体制でお客様をお迎えできる拠点となりました。

部署名	事業開発本部 事業推進部 アクア膜グループ・ダンフォースグループ
所在地	神奈川県横浜市港北区新羽町1794
開設	2018年5月
営業品目	アクア膜Gr. : RO/UF膜・FRP製ベッセル等の販売 ダンフォースGr. : インバータ・ソフトスタータ・モータ及び制御関連等の販売

RIX INDIA TRADING & SERVICE PVT.LTD.(インド)を新設しました。

2018年11月にインドにおいて販売子会社RIX INDIA TRADING & SERVICE PVT.LTD.を設立し、2019年3月に操業を開始いたしました。

RIX INDIA TRADING & SERVICE PVT.LTD.はインド西部のムンバイを拠点に、顧客密着営業による販売・サービス体制を強化し、自社・グループ企業製品の販売網を拡大してまいります。

会社名	RIX INDIA TRADING & SERVICE PVT.LTD.
所在地	Star Hub, Building No. 1, Office No. 101, Sahar Road, Andheri (E), Mumbai 400059
設立	2018年11月
営業品目	リックス自社製品及び取扱い商品の販売



▶ 海外ネットワーク (2019年3月31日現在)



▶ 事業所 (2019年4月1日現在)

信頼と情報を支えるネットワーク

先進技術、膨大なノウハウ、鋭敏な感性、そしてサービスも含めた高信頼性。これらは、全国に張り巡らされたネットワークをベースに、きめ細かなコンサルティング・セールスを展開することによって獲得してきました。ユーザーとともに歩むメーカー商社リックスは、なによりもお客様との質の高い、多くの接点を大切にしています。

本社	★管理本部、企画本部、事業開発本部、海外事業本部
営業本部	■営業本部
営業所	●自動車事業部 豊田営業所、西尾営業所
	●鉄鋼事業部 鹿嶋営業所、千葉営業所、君津営業所、東海営業所、和歌山営業所
工場	●東部営業部 苫小牧営業所、仙台営業所、宇都宮営業所、埼玉営業所、東京営業所、周南営業所、横浜営業所、平塚営業所、富士営業所、名古屋営業所、北陸営業所、豊橋営業所、四日市営業所
	●西部営業部 滋賀営業所、大阪営業所、加古川営業所、倉敷営業所、広島営業所、周南営業所、四国営業所、北九州営業所、福岡営業所、長崎営業所、大分営業所、熊本営業所、鹿児島営業所
工場	■生産本部福岡事業所
研究・開発所	▲技術開発センター
	▲中部テクニカルセンター
	▲横浜事業所
	ダンフォースGr・アクア膜Gr



▶ 会社概要 (2019年3月31日現在)

- 商号 リックス株式会社
- 英文社名 RIX CORPORATION
- 創業 明治40年(1907年)10月
- 設立 昭和39年(1964年)5月1日
- 資本金 8億2,790万円
- 従業員 393名(連結632名)
- 主要な事業内容 高圧液圧応用機器、精密計測・検査機器等の製造販売

▶ 取締役および監査等委員である取締役 (2019年6月25日現在)

代表取締役社長 安井 卓	取締役 伊佐 清人
取締役副社長 柿森 英明	取締役 田原 俊二
専務取締役 川久保 昇	取締役 (常勤監査等委員) 坂本 克彦
常務取締役 荻田 透	取締役 (監査等委員) 小西 正純(*)
常務取締役 芹川 康介	取締役 (監査等委員) 武藤 靖(*)
取締役 橋本 忠	取締役 (監査等委員) 植松 功(*)
取締役 江頭 裕明	
取締役 多々良 浩昭	

(*) 社外取締役

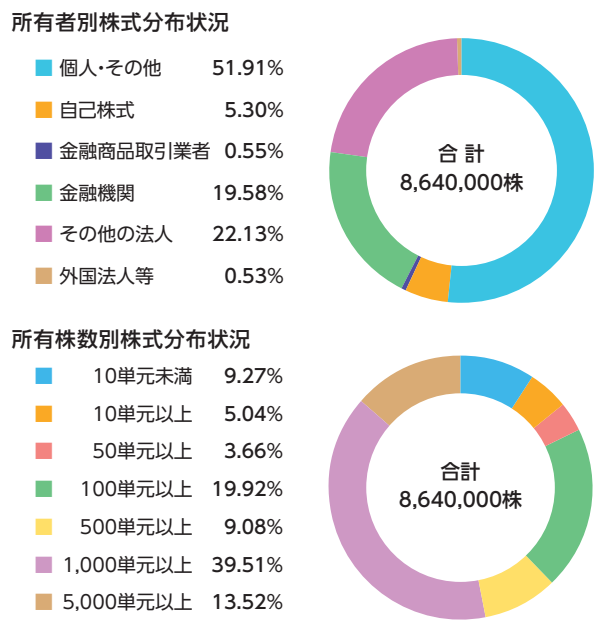
▶ 株式の状況 (2019年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 27,600,000株
- 発行済株式の総数 8,640,000株
- 株主数 6,993名
- 大株主(上位10名)

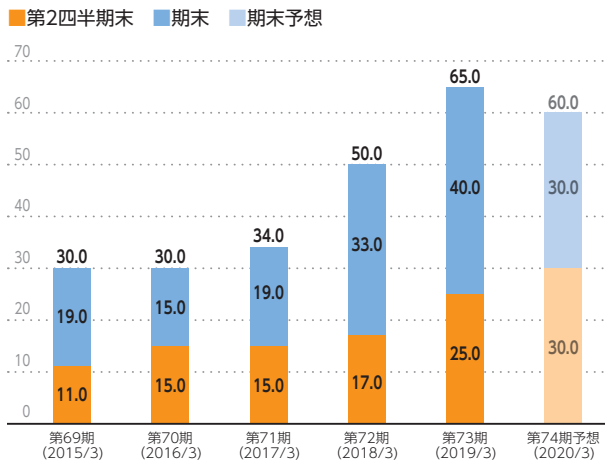
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
NOK株式会社	1,167	14.27
安井玄一郎	404	4.95
株式会社西日本シティ銀行	382	4.68
リック取引先持株会	379	4.63
リック従業員持株会	249	3.04
安井龍之助	218	2.67
園田和佳子	171	2.09
山田貴広	166	2.04
株式会社三菱UFJ銀行	152	1.86
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	151	1.85

注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 当社は自己株式457千株を保有しております。

▶ 株式分布状況 (2019年3月31日現在)



▶ 1株当たり配当金の推移 (単位: 円)



株主メモ

- ◆ 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- ◆ 定時株主総会 毎年6月
- ◆ 配当金受領
株主確定日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- ◆ 株主名簿管理人
および特別口座の 三菱UFJ信託銀行株式会社
口座管理機関
- ◆ 株式に関する各種手続の申込先について
・住所変更、単元未満株式の買取請求、買増請求、配当金受取方法の指定等は、お取引口座のある証券会社に申し出てください。
ただし、特別口座に登録された株式に係る各種手続につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。
・未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。
- ◆ 同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-232-711 (通話料無料)
- ◆ 公告方法 電子公告により行います。
公告掲載
URL <https://www.rix.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。
- ◆ 単元株式数 100株
- ◆ 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
福岡証券取引所

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに当社株式への投資の魅力を高めていただくため、株主優待制度を実施しています。

- 割当基準日 3月31日
- 優待内容
 - 100株以上300株未満所有の株主様
⇒ クオカード1,000円分
 - 300株以上500株未満所有の株主様
⇒ クオカード2,000円分
 - 500株以上1,000株未満所有の株主様
⇒ クオカード3,000円分
 - 1,000株以上10,000株未満所有の株主様
⇒ クオカード4,000円分
 - 10,000株以上所有の株主様
⇒ クオカード10,000円分

当社ウェブサイトのIR情報のページに決算情報など最新の情報を配信しております。ぜひご活用ください。

<https://www.rix.co.jp/>

リックス株式会社

検索 

